

第

52

回

通

常

総

会

新執行体制スタート



約460名の組合員が出席し、全議案が無事承認された。



代表理事組合長 三上 道廣

9月27日、弘前市中央公民館相馬館「長慶閣」において、第52回通常総会を開催、提出された全議案が可決承認された。

改選期に当たる本年度は、8月に理事選挙が行われており、本総会において選任議案が可決されたことで、当選した役員候補者が晴れて正式な理事・監事となった。

同日午後の理事会において、代表理事組合長に三上道廣理事、専務理事に大場勉理事、理事金融共済部長に花田敏幸職員兼務理事をそれぞれ再任、総務委員長に福島憲一理事、りんご委員長に花田勇人理事を選んだ。いよいよ新執行体制がスタートした。

27年度を振り返る

平成27年度決算はリンゴが高価格で販売出来



役員の任期満了に伴い、通常総会で役員の選任議案が承認され、理事会で平成28年度からの新体制が決まった。

通常総会提出議案

報告事項

平成27年度貸借対照表、損益計算書、注記表並びにJA全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告について

議案第1号

平成27年度事業報告及び剰余金処
分案の承認について

議案第2号

平成28年度事業計画の設定について

議案第3号

第9次三カ年計画の設定について

議案第4号

平成28年度における理事及び監事
の報酬について

議案第5号

定款の一部変更について

議案第6号

定款附属書役員選任規程の一部変
更について

議案第7号

規約の一部変更について

議案第8号

信用事業規程の一部変更について

議案第9号

農地利用集積円滑化事業規程の一
部変更について

議案第10号

全国農業協同組合連合会が行う農
業経営事業に関する同意について

議案第11号

役員の選任について



質疑応答では組合員から意見・要望が出された

たこと、記念イベント関連の費用がなかったことなどから、事業総利益で6億9百万（前年比98%）と前年を下回ったものの、事業管理費を差引いた事業利益で1億1千9百万円（同108%）となった。これに事業外収益・費用・特別利益・損失をプラスし、税引前当期利益で1億5千万（同118%）を確保することができた。これもひとえに組合員総力の結集の証だと感謝するとともに、金融や共済、ガソリンスタンドなど、当JAを利用していただいた多くの方々にも忘れず感謝したい。

事業別にみると信用事業がマイナス金利の影響から貯金が伸びず、貸出金も前年を下回った

役員紹介

新執行体制が決まる



理事
総務委員
溝江 徹



理事
総務委員
田澤 俊則



理事
総務委員長
福島 憲一



理事
金融共済部長
花田 敏幸



専務理事
大場 勉



代表理事
組合長
三上 道廣



員外監事
盛 浩一



監事
山内 知人



代表監事
清野 護



理事
りんご委員
三上 隆基



理事
りんご委員長
花田 勇人

ことから、利息収入が伸び悩んだ。貯金で集めたお金を運用して収益を得る信用事業は、運用する額の大きさがものをいう。結果、前年を下回る実績（同80％）となった。

共済事業においては満期を含め総支払額が3億6千4百万円を超え最良のサービスを提案している中、残念ながらポイント目標は達成できなかった。今年こそは目標を達成したい。

販売事業においては、2度の強風被害にさらされたが、リンゴの入庫数が79万2,046箱／20K（同96％）のまますの実績となった。

販売においては、年末ギフト需要や国内販売から海外向けにシフトしたことで、終始高値となり総販売額は41億8千万円となり、平成11年度以来40億円を超える結果となった。

また、リンゴジュースの実績も右肩上がり伸びており、124万本（同125％）と過去最高の実績を更新している。

購買事業においては、肥料・農薬・袋といった生産に欠かせない3大品目についてはほぼ前年並みの供給高となったが、原油の価格が大きく下落したことから、油種全体の値下がりが続き、スタンド供給高は大きく前年を下回る事となった。

また、湯口支所を核とする直売所においては、狭い店舗ながら店頭や支所一帯をフルに活用した屋外イベントで売り上げを確保、ほぼ前年並みの実績となった。